



神 産 建 第 372 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

徳島県名西郡神山町長
後 藤 正 和



今後の道路行政についての意見・提案について(提出)

日頃は道路行政の推進につきまして、格段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、表題の件について提出をさせていただきますので、よろしくお取り計らい
お願いします。

- ・地域に暮らす全ての人々の日常生活を支えるため、地方における道路整備の実態と必要性を再確認し、道路特定財源の一般財源化にあたっては、国の責任において地方の道路整備に必要な財源を確保する仕組み作りを構築すること。
- ・地域の課題に対応した道路整備を推進するため、改築、維持等が実施できる地方道路整備臨時交付金制度を存続すること。
- ・都会は様々な交通機関が発達し、道路整備も着々と進んでいる一方、地方はまだ未整備区間が多く、遅れは一目瞭然でありあまりにも格差が大きくもっと地方に目を向け最低でも全国平均まで整備率が上がるよう地方に予算の重点配分をすると共に、地方負担の軽減を図ってもらいたい。
- ・ストックの老朽化が進む中、財政力の弱い地方は限られた予算の中で維持管理をしているため、今まで以上の財政支援措置を願いたい。

○現状

・公共交通機関の乏しい神山町は、自動車が唯一の交通機関であり町の動脈を形成しているが、未だ未整備区間が多い。

・都会より癒しを求める人、また観光客が年々増加し通行車両が増えているが対向すらできない区間が多いため、訪れた人の中に道の駅などで苦情を言って帰られるドライバーがいる。

・急峻な峠区間を抱え未改良部分が多く、豪雨等の異常気象時には落石や山腹崩壊が度々発生し、事前通行規制となる区間があり、又今世紀前半にも高い確率で発生が予想される南海地震では大きな被害が懸念されるなど、沿線住民の安全で安心できる日常生活が脅かされている。

・高齢化率が非常に高く、救急患者の搬送確立も非常に多くなり患者の搬送に時間を要するなど幹線としての機能が十分発揮していない。

・風景街道による自然、観光資源を周遊するコースを検討しているが、道路幅員の狭い箇所が多く、時間の設定が難しい。

○課題

・地形が急峻な中山間地域にとって、工事費の単価が高額となり進捗率が上がらない。

・少子高齢化、過疎化の進む神山町にとって、自主財源も少なく交付金も減額していることから、道路整備に要する経費の計上に苦慮している。

・基礎的なインフラ対策の遅れによる担い手たる人々の減少。

②-2 地域の目指すべき将来像

神山町は、総面積の約83%が急傾斜地の山林で耕地は3.5%と少なく雲早山を最高峰として、1000m級の剣山山系が重畳しており、この山脈を鮎喰川が縫って流れ豊かな自然環境に恵まれています。

しかし、少子高齢化社会により過疎化が進む中で、過疎地域の住民が、自然や大都市など他の地域の住民との共生を図りながら、それぞれの地域で、持続的に安心して生活ができる仕組みを構築する必要があります。

そこで、町内を葉脈のように走る道路を日本風景街道「いやし・もてなし神山街道」に登録し、地域住民や道路管理者など官民が協働による道路を中心とする幅広い範囲において、沿道空間の整備として、神山さくら会による桜街道日本一を目標に植栽、アドプトプログラムを住民主導で立ち上げ、道路の清掃、草刈りなど維持管理に努め、各ボランティアグループによるイベントを開催し、地域資源の発掘活用等を行うことにより、美しく豊かな地域の形成を図り、やすらぎ・うるおいなどのいやしの場を提供する活力ある地域作り、魅力ある町作りなどの施策を周年を通して展開し、訪れる人と迎える地域の豊かな交流空間の場を提供し、地域の活性化に努める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

徳島県神山町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	国道438号府能バイパス (新府能トンネル) 主要地方道石井神山線 (新童学寺トンネル) 国道193号倉羅バイパス (倉羅トンネル) 道の駅 保養センター 四季の里	○期待する効果や評価等 ・神山温泉・ホテル四季の里利用客の増 ・救急病院への搬送時間の短縮 ・休止していた徳バスの運行再開 ・輸送時間の短縮により鮮度保持 ・農産物の荷傷み防止 ・通勤通学時間短縮により町外への流失防止 ・Uターン・Iターン・Jターンの増加 ・地域の活性化 ・道の駅「温泉の里神山」の来場者数が増加し、駅を拠点として町内の景勝地へ訪れる人が増えてきた。 ・県北より県南への最短距離であり、循環することにより近隣市町との交流が拡大することで、地域の活性化が期待できる。 ・中学生の志望校の変更 ・通学するのに今までバスの乗り継ぎが必要であったが、開通後直接学校へ通学でき、時間の短縮ができた。 ・通学できることにより、親の負担の軽減 売上客数・売上高(前年度との比較)1～9月 客数 119%・売上高119% H19、72,919 人・H20、86,098 人 客数 113%・売上高115% H19、118,941 人・H20、134,951 人 客数101%・売上高101% H19、6,623 人・H20、6,726 人	